



教育ニュース

VOL.15
R3.11.9



11月5日（金）レベルI研修「輸血・麻薬」を実施しました。

安全で適正な輸血・麻薬の取り扱いができることを目的に研修を行いました。輸血の講義では、臓器移植の一つである輸血療法のリスク・事前検査や同意の必要性・輸血製剤の取り扱い方について、麻薬の講義では、緩和ケア認定看護師から麻薬の効果と副作用・その観察・法律に基づいた厳重な管理と使用方法について説明を行いました。

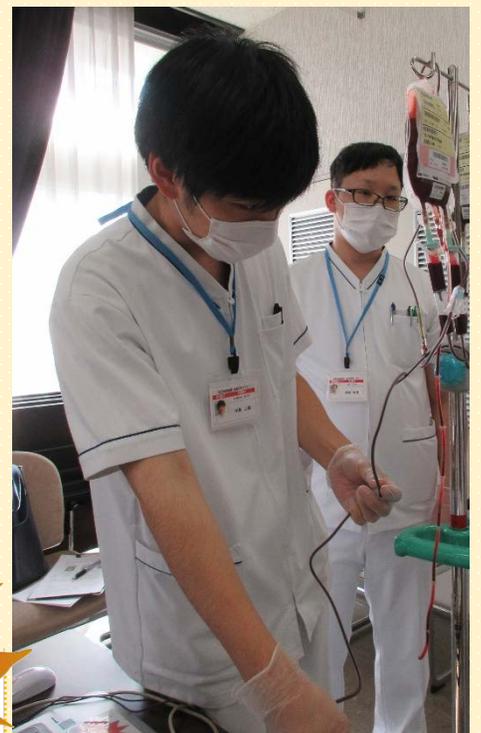


講義

輸血の取り扱いについて
なぜ、ダブルチェック、3点認証が必要なのか
なぜ、病棟で輸血を保管してはいけないのか
なぜ、輸血開始後、患者のそばで観察しないとけないのか
麻薬の取り扱いについて
なぜ、金庫で保管しないとけないのか
なぜ、全て返納しないとけないのか など
様々な、根拠について学ぶことができました。

輸血の演習

研修生は事前に輸血の看護手順を確認し演習に臨んだが、実際に経験したことがない研修生が多く、慣れないダブルチェック・ルート接続・投与速度調整に緊張していましたが、一つ一つ丁寧に実施できました。また演習の中で、テンプレートを活用した観察項目の入力を行い、ベッドサイドでのこまめな観察とタイムリーな記録の必要性を説明しました。



OJTのお願い

輸血、麻薬の取り扱いがありましたら、研修生に経験させてください。その際手順を遵守し、「根拠」について再度おさえていただくようお願いします。また2月には院内留学も計画しています。研修生の看護技術習得状況を確認し、ぜひ参加を促してください。

